

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年2月6日(2024.2.6)

【公開番号】特開2023-61671(P2023-61671A)
 【公開日】令和5年5月2日(2023.5.2)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-082
 【出願番号】特願2021-171746(P2021-171746)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 9/22(2006.01)

H 0 5 K 7/20(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 R 9/22

H 0 5 K 7/20 B

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月29日(2024.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

ナット支持ベース部32は、細長い板状部分に形成されている。ナット支持ベース部32の一方の主面上に絶縁部材40を介してナット部50及びナット部60が支持される。本実施形態では、3つのナット部50がナット支持ベース部32の長手方向中間部に位置し、2つのナット部60がナット支持ベース部32の長手方向両端部に位置する。ナット支持ベース部32の一主面上に、ボルト逃し穴33が形成されている。ボルト逃し穴33は、有底穴であり、各ナット部50及び各ナット部60のネジ孔の延長上に位置している。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

本実施形態では、3つのナット部50に対応して3つのナット収容凹部44h1が、絶縁部材40に間隔をあけて直線状に並ぶように形成される。2つのナット収容凹部44h2が、3つのナット収容凹部44h1が並ぶ方向において、当該3つのナット収容凹部44h1の外側に形成される。このため、3つのナット部50のそれぞれが、3つのナット収容凹部44h1に収容されることで、間隔をあけて直線状に並ぶように回転規制された状態で保持される。また、2つのナット部60が、3つのナット部50が並ぶ方向において、当該3つのナット部50の外側に回転規制された状態で保持される。ナット部50、60が別々に、ナット収容凹部44h1、44h2に収容されるため、ナット部50、60は、絶縁部材40によって相互に電氣的に絶縁された状態に保たれる。

40

50